
IS ~ある平凡な女生徒の話~

和井

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

IS～ある平凡な女生徒の話～

【Zコード】

Z3493BA

【作者名】

和井

【あらすじ】

原作でもアニメでも限りなく影の薄かった1年3組に入学した女オリ主（転生者にあらず）から見た騒動の数々を書いて行こうと思います。

作者は原作は臨海学校のあたりまでしか読んでいません。アンチオリキャラ、原作ブレイクになるかと思われます。初心者が書く文なので、広い心で読んでくれると嬉しいです。

入学式（前書き）

入学式

その日私は、これまでの15年の人生において最も緊張する日を迎えていた。

たかが高校の入学式と言うなれ。

私は何の神様の悪戯か天下のI.S学園への入学を果たしたのである。

合格通知が届いた日の騒動はそれはもう凄いものだつた。学校の皆が騒ぐのは勿論、地元のテレビや新聞社からもインタビューが来たほどだ。（うちが如何に田舎かが良く分かるエピソードである）まさか「人生の記念に受験したら受かりました」なんて言えるわけがない。しどろもどろに返事をしているうちに、I.S学園入学を目指して日々努力を続けた少女のサクセスストーリーが紙面を飾つていた。我ながら、これ誰？と思つてしまつた。

親元を離れるどころか、県外に出たのは修学旅行の時と受験の時だけという私が全寮制のI.S学園に入学するにあたつては、両親はそれはもう心配して、入寮の手続きには会社を休んで同伴したぐらいだ。高校生になるのに親同伴は恥ずかしかつたけど、ちょっと安心したのは私だけの秘密だ。それに、私以外にも保護者同伴でやってきていた子は結構いたので、もし一人で来ていたら尻込みして逃げ帰つていったかもしれない。

入学式には保護者は参列できないので、両親は数日近隣のホテルに滞在しながら日常品を揃えてくれると、くれぐれも日本の恥にな

らない様に、と大仰な言葉を残して帰つていった。その頃には私も寮で仲良く喋れる相手が数人出来ていたので、ホームシックも心配していた程ひどくなくてすんだ。なにしろ新入生の半数近くは留学生なのだ。母国を離れている彼女達の前で弱音を吐いている場合じゃないし。

それにしても凄い年に入学できたな、と思う。世界初の男性のIIS適正者と同年なのだ。テレビで大騒ぎになったころは受験シリーズは終わりかけていたし、まさか彼が同学年になるとは思ってなかつた。色々研究所とかで検査されるのかなつて思つてたけど、日本政府としては彼をとにかく早く安全な環境に置きたかったらしい。その点、超法規的存在であるIIS学園がうつてつけだつたということがなのだろう。

ただ、事前に発表されていたクラス分けでは彼は1組、私は3組。2クラス合同の実技演習でも一緒になれないのが残念だ。でも、寮で仲良くなつた子に1組の子もいたので、彼女から色々話は聞けるだろい。

とにかく父さんや母さんの期待に応える為にも、そして自分の将来の為にも頑張ろうと思つた。

初日1（前書き）

会話文の挿入の仕方が下手ですみません。

入学式の後は各自教室に戻つて、担任の挨拶やクラス皆の自己紹介があつた。こういうところは普通の女子高みたいだな、と思つ。ただ、クラスメイトの名前を覚えるのは大変そうだったけど。それでも皆日本語が上手なのは凄い。

途中、余所のクラスから凄い声が響いてきて驚いたけど、担任の先生は全然動じていない。流石だ。なんでも毎年の事らしい。声の方角からして1組のようだつたから、大方男子生徒の挨拶があつたのかとも思つていたけど、1組のクラス担任があのブリュンヒルデなのだそうだ。納得。

女子の情報収集能力侮るべからず。1組は担任がブリュンヒルデなうえに、唯一の男子生徒とイギリスの代表候補生がいるのだそうだ。確定情報では無いけれど、あの篠ノ乃博士の関係者もいるらしい。なんていうか派手なクラスというのが私の第一印象だ。他は4組に日本の代表候補生がいるくらいらしい。4組とは合同演習があるので、彼女の実技が見れるのが楽しみだ。

それにしても流石はエリート養成校といわれるだけのことはあるのか、入学式のその日から早速座学が始まつた。自分も結構得意だと思っていたけど、さすがにこの学校に来ると、自分なんかまだまだだだと思い知らされる。卒業するまで結構ハードなことになりそうだ。とはいへ、自分の意志で入学したんだから精進あるのみ。

へとへとになつて寮に帰ると、早速仲良くなつた子のところへ顔

を出してみた。勉強だつて大事なんだけど、女同士の付き合いも大事なのだ。下手な噂がたとうものなら暗黒の学生生活が待っている。話題の中心になるのは当然1組の子だ。貴重な情報源である彼女の前には、皆からの捧げものが山になつていて。とはいえ、結局皆で分けて食べるんだけど。

彼女の話だと、かの有名な男子生徒の名は織斑一夏。結構なイケメンらしい。もっともこんなことはニュースでいやつて言つほど知つていたので、皆の視線の圧力が先を促す。

そして彼は、かのブリュンヒルデの弟なのだそうだ。日本人の子は名字である程度予想がついていたのかそれ程の驚きは無い。留学生組はメモをとるほどの熱心さだ。知識の吸収に貪欲なんだね。

最初は、彼の外見がキュートだのなんだと盛り上がっていたんだけど。彼が参考書を古い電話帳と間違つて捨ててしまつたという話になつた時、ちょっと沈黙があつた。なにしろ皆、この学校に入学するまでそれこそ血のにじむような努力をし、参考書だつてすりきれるほど読んで此処に来たのだ。信じられなかつたんだろう。私だって受験 자체は人生の記念としてだつたけど、それはあまりの競争倍率で受かるとは思えなかつたからで、勉強は人並以上はしたのだ。合格が決まつてからは送られてきた参考書を寝る間も惜しんで読みこんだ。

「彼、急に入学が決まつてバタバタしてたんでしょう。しうがないんじゃない？」

「でもあんなに分厚いのに」

「誰にでも失敗はあるって」

「そんなもんかな～」

流石に最初はひいちゃつた皆も、彼にIIS適正有りと判明した日から入学までの短さを思えば、結構同情的な流れになつてきた。自

分も親元を離れるにあたっては結構ばたばたしていたし。彼には両親はないそうだから全部自分で準備したんだろう。親に色々やつてもらつた自分が文句をいえることではないだろう。

そして、話がクラス代表決定の事になつた時。完全に場が凍つた。話していた子の表情も目に見えて引きつっていた。気立てのよさそうな、おつとりした感じの子なんだけど、くつきりと青筋が浮いてる気がする。ギャップが激しすぎて怖い。でも、彼女の口からイギリス代表候補生の話が出た時。きっと他の皆の顔も同じような感じになつていたと思う。彼女と同じイギリス出身の子は可哀相な位蒼褪めて、今にも失神してしまいそうだ。さすがに皆すぐには信じ難かつたのか、他にも同じように駄弁つていた子たちと話をしてみると、そのイギリス代表候補生セシリア・オルコットが吐いた暴言はあからさまに日本を侮辱していた。彼女は気付いていいのだろうか？彼女は織斑君に対してだけ言つたつもりなんだろうけど、その言葉は学校の半分近くの人間への暴言になるのだといふことを。ただの一生徒ならまだしも、代表候補生が言つた言葉だ。重みはまるつきり違う。それに、もともと彼女の評判は良くなかつた。彼女は自室の半分以上を自分の家具で埋めていて、ルームメイトは隅っこで小さくなつている。協調性のかけらもない。どうやら名家のお嬢様らしいけど、ここではそんなものは関係ないのに。きっと集団生活の経験が無いんだろう。でも、これで彼女は女子の大半を敵に回したと言つても過言ではない。もしかしたら、自分で気付いて反省して謝罪するかもしれないけど、この失点を挽回するのは難しいだろつ。

イギリスの代表候補生の選定基準を聞いてみたかったけど、これ以上話を続けると本当に不味い事態になりそつたので、皆でイギリス出身の子をひとしきり慰めた後、解散となつた。

それじつても、この怒りを誰にぶつければいいのだらう。

初日2（前書き）

長い文が書けないので、短いのを細々と投稿をせてもうひとつあります。

読みにくくてすみません。

どこに怒りのやり場を向ければいいのだろうと、悶々としながら自室へと向かつ。

校内唯一の男子生徒の存在は良い話のタネになっているのか、結構仲良しグループで駄弁つている子が多い。入学初日から部屋に籠つて勉強する氣にもなれないんだろう。とはいっても、さすがにずっとおしゃべりしていると翌日の授業に響くので、皆部屋に戻り始めている。まだ部活も始まつていないし、一年生の殆どが寮にいたようだ。大抵の子の顔が引きつって見えるのは気のせいじゃないだろう。そして、その中に話題のセシリ亞嬢の姿は無い。彼女は寮に入った時から、大体寮に居る時は部屋で一人で寛いでいるという噂だから、今日も部屋にいるんだろう。もし、部屋から出ていれば自分の置かれている立場に気付けたかもしれないのに。だから、女同士の付き合いは大切なのだ。

部屋に向かう途中、なんだか物騒な音が響いてきた。どうやらかなりアグレッシブな喧嘩が起つてているらしい。可哀相にルームメイト同士の相性が最悪だったのだろう。周りにも迷惑だろうから、もしかしたらまた部屋替えとかあるかもしない。できれば私にはとばっちらりが来ませんように。

別に立ち聞きする趣味なんてないので足早に通り過ぎようとした時。

私は人間の腕力の凄さを見た。

ISS学園の寮は、ちょっとしたホテル並みに設備が整っている。

もし地元の友達が私の部屋を見たら讃嘆の声をあげるだろう。そして、勿論ドアだつてしつかりしたつくりだ。寮の立地からして不審者が入るなんて事は無い気がするけど、防犯もばっちりしている。これは、欧米出身の学生達の感性に合わせているのかも知れない。

その、しつかりとしたドアが、今、私の、目の前で。

ふつとんだ。

なんとも非現実的な光景だ。

中から飛び出してきたのは、今最もホットな話題の男子生徒と、竹刀を振りまわすポニー・テールの女子。これが往来だつたら迷わず通報している。だけど、このとき私は

(ドアつて竹刀でぶつこわせるんだあ)

現実逃避に走っていた。うん、誰だつてこいつなると想つよ？

むしろ腰を抜かさなかつただけ凄いと思つ。

正気に戻つたのは、親切な誰かが頬に絆創膏を貼つてくれた時だ。どうやら破片で切れたらしい。これだけの傷で済んで良かつたと言つべきか？

その場は騒ぎを聞きつけてやつてきた寮長の織斑先生の一喝で静かになつて、皆脱兎のごとく自室に戻つたけど。

私、あのポーネの子に谢つてもらつてないんだけど。

まあ、彼女も興奮していたみたいだし、すぐに強制的にお開きになつたし、しようがないだろ？。それにしても、なんか密度が濃すぎる一日だったと思う。

父さん、母さん、勉強をさぼつて「めんなさい。だけど、今の状態じゃとても勉強に身が入りません。

明日の朝、早起きして予習をすることにして早々に就寝することにした。全部見ていたルームメイトが優しくしてくれて心に染みた。今度一緒にお風呂に行つた時、フルーツ牛乳を御馳走しようと思つ。

翌朝、あのポーテの子が1組の篠ノ乃さんだと知つた。

自分を3組にしてくれた先生に最大の感謝を。

昨夜は寝る前にとんでもない現場を目撃したけど、私の神経は余程ずぶとかつたのか思いの外爽快な目覚めだった。

そして目が覚めて冷静になつてみると自己嫌悪に襲われる。

昨夜はドアが吹っ飛んできた衝撃で思考がフリーズしちゃつてたけど、ポニテの子が追いかけてたのは学校唯一の男子だつたよね？ということはそれまでは一人で部屋にいたわけで。もしかして彼女はとんでもない危機的状況にあつたんだろうか？だつたら本当に申し訳ない事をした。一番謝罪されるべきは彼女だろう。

ちなみにルームメイトの話だと、なんとあの二人は同室なんだそうだ。

嘘でしょ？何考えてんの、この学校。

彼のお姉さんはこの寮の寮長として個室を持つているんだし、其処で寝起きするべきだと思うんだけど。公私の別云々とかいうなら、この寮は充分部屋が広いんだから、他を3人部屋にして個室を作つてあげてもいいだろに。いきなり男の子と同室にされちゃつた彼女にしみじみと同情する。

それにしてもドアをぶつ壊すほど怒るなんて、何があつたんだろう？

今度彼女をみかけてもそつとしておいてあげよう。

早めに起きて予習をしていたら、同じように早起きして朝練をしてきたルームメイトが戻ってきたので、二人で食堂へ向かう。私と同室になった子は、残念ながらクラスは2組で違うんだけど、明るくて活発で喋っていても楽しい子だ。本当にラッキーだ。実は父さ

んや母さんも彼女に挨拶して帰つていったんだけど、一人も気に入つていたみたい。

この学校の食堂は、それはもう多国籍の留学生を迎えるのでメニューの種類が半端ない。地元の食堂より、よっぽど凄い。いつか全メニュー制覇とかしてみたいと思うけど、どれ位かかるだろう？段々混雑してきたので、流石にゆっくり選んでもいられないの普通にモーニングセットを頼む。実技も重んじる学校ゆえか結構なボリュームだ。起きぬけだつたらきついかも。

食堂の一角に昨夜の彼女を見つける。隣に例の男の子がいるところを見ると、それ程心配する様な事は無かつたみたいだ。女子校出身の子は男の子に免疫がないから、きっと過剰反応しちゃつたんだろ？ それにしては過激だけど。あの修理費は誰が出すのかな？

そんな彼女に興味津津で近付いて行く女子が数人いる。やはり彼女の名字が気になるらしい。私も篠ノ乃なんて名字はある篠ノ乃博士位しか知らないから、親戚かなとは思つてゐるんだけど。

それにしても凄い反応。あれじや「関係者です」って大声で宣言したのと同じだよね。

彼女はもつと牛乳を飲むべきだと何時かアドバイスしてあげよう。なんだか、彼の方を疑つちゃつたことが申し訳なくなつちやつた。本当に何時割れるか分からなくてドキドキする風船みたいな子だよね。

うん、本当に私、3組で良かった。

「四三四？」（前書き）

文才が欲しい。

今日から早速本格的に授業が始まる。

ちなみにうちのクラスの代表は、無難にアメリカ出身の子が立候補してそのまま決まった。このクラスは代表候補生はいないし、技量は未知数でも性格のしっかりした子がイニシアチブを握るのは良い事だと思う。1組はまだ決まって無いけど、代表候補生と殆ど素人の男子生徒の決闘ならもう決まつたも同然だろう。まあ、1組の子たちには「御愁傷さま」とだけ言つておく。いくら強くても、あんな国粹主義者の子が代表じゃ苦労しそう。

ちなみに彼の特訓はある篠ノ乃さんがするんだそうだ。あの後知つたけど、彼女は博士の妹なんだそうだ。もしかしたら一週間で劇的に見違えるほどの特訓をしてくるかもしれない。番狂わせが起きたと面白いだろうな。

1組の子の話だと、1組の担任はやたら怖くて、副担任はすぐにメソメソする先生らしい。やはり憧れの対象は遠くから見るに限ると思う。私はこのクラスにまで響いてくる様な出席簿アタックは絶対に受けたくない。話を聞くだけで怖気が走るほどの軍隊式だ。彼女の骨はきちんと拾つてあげよう。

それにもしても世界最強だった先生なんだから、上級生とか、もつとISに慣れている生徒の教官をしてくれたら良いのに。宝の持ち腐れだよね。私達、座学でISの知識は詰め込んできただけど、実技は初心者マークなんだけどな。本当にこの学校つて何考てるのかわからない。

無事に本格的な一日目が終わって寮に帰る。

好奇心の強い子は早速話題の一人の特訓風景を見て来たらしい。なんでも、一人でひたすら剣道をしていたそうだ。皆、彼女の考えがわからなくて不思議顔だ。

情報通の話だと、流石世界初の男性IS適正者というべきか、クラス代表決定戦の日までに彼の専用機が届くんだそうだ。羨ましいとも思うけど、データ取りが目的なんだろう。ちなみにその専用機がどういう機体なのか知っている子はいなかつた。もしかして篠乃さん達は特別に主武装とかの情報を貰つたんだろうか？

ちなみにイギリスの代表候補生の専用機は遠距離攻撃を主体とするタイプらしい。もし彼の専用機が近接戦闘型なら益々ご愁傷さまだ。いくら性格が悪くても流石に実技の腕が悪いという事は無いだろうし、きっと間合いに入らせて貰えないだろう。しゃくな話ではあるけれど、代表候補生という存在はそれだけ強い存在なんだから。

それにしても確かに本人の剣の腕前が上がれば、IS搭乗時にもそれは反映されるけど。彼の今までのIS実働時間数はどれ位なんだろう？生身の時と違つて、ISに乗ると間合いだって変わるんだし、ISに慣れる方が先じやないかな、と思う私はやっぱり素人なんだろうな。

私も素振りでも始めようかな？

クラス代表決定戦（前書き）

文調が安定しません。なんかオリ主の日記みたいになつてしましました。オリ主の設定は一応つくつてあるんですが、公開する必要はあるんでしょうか？

クラス代表決定戦

今日は1組のクラス代表決定戦の日だ。

専用機を生で見た事が無い私としては、是非とも見たいところなんだけど、学年行事じゃないから見れないんだよね。残念。皆もう思っているのか教室の雰囲気が落ち着かない。せめて血溜になればいいのに。

結局は、やつぱりというべきかイギリス代表候補生の勝利。まあ、いくら相手も専用機持ちでも素人同然なんだから、負けてたらとしてもやばい事態になつてたと思つ。国の面子も丸潰れだしね。

でも1組の子たちの話だと接戦だつたそだから、さすがはブリュンヒルデの弟と言うべきか、代表候補生が見かけ倒しだつたと言うべきか判断に悩むところだ。

ちなみに織斑君の主武装は『雪片式型』という名前の刀剣だつた。さすがに本人には主武装が前もつて教えられてたんだ。前知識無しでいきなり試合なんてありえないしね。

そしてオルコットさんと織斑君は結局和解はしたみたい。まあ、直接侮辱されたのは彼なんだから、彼が許すのなら私達は文句が言えないけど。でも、私としてはせめて1組の皆の前では謝つてほしかつたな。

そして、あれだけ大騒ぎになつた拳句、1組のクラス代表は織斑君に決まつた。なんでもオルコットさんがその座を譲つたんだつて。

だつたら最初から立候補しなきゃいいのに。まあ、試合が接戦だつたからこそなんだろうけど。

そういうわけで、今夜は織斑君のクラス代表決定のお祝いパーティー。勿論私達だつて紛れ込む。参加者は1組限定なんて言われてないし、彼を間近で見れるチャンスなんてなかなか無いしね。

それにしても、オルコットさん、織斑君を好きになつたんだね。わかりやす過ぎ。もつとも肝心の相手はこれっぽつとも気付いてないけど。そこまで鈍感だと、ある意味尊敬に値するかも。こんな女ばっかりの学校で自意識過剰な男子だつたりしたらウザイだけだし。

決して関わりたくないけれど、これからどうなるか見てている分には楽しそうなクラスではある。

それにしてもオルコットさん。そんなんじや将来簡単に悪い男に引っ掛けりそう。よっぽどの箱入り育ちだつたんだね。健闘だけは祈つてあげる。祈るだけで応援はしないけどね。

転人生（前書き）

別に鈴が2組を疎かにしていたという表現は無かったと思いますが、あまりにも織斑ハーレムとの行動が多くつた気がしたので。

転入生

隣の2組に転入生が来た。中国の代表候補生とのこと。これで、代表候補生がないのは我が3組だけになってしまった。まあ、運の問題だからしようがない。彼女が転入するなら、2組か3組のどちらかしかなかつたわけだし。

ルームメイトの話だとチャキチャキとした明るい子らしい。性格は勝気なのが、2組のクラス代表は彼女に変わってしまった。別にクラス代表は必ずしもクラス最強でなくてもいいだろうに。そうじやなかつたら、最初から学校側がクラス代表を決めていたはずだ。まあ、これは2組の問題だから私が口出しする権利は無いけどね。

それにしても気になるのは、彼女が織斑君の幼馴染だったこと。篠ノ乃さんも織斑君の幼馴染だったそうだし、早くも三角関係から四角関係へ発展の予感。校内唯一の男子を巡つての女の戦いなんて、いかにも女子高の子は男に飢えてますつて感じで嫌だけど、昔からの知り合いじやしうがないうか。

織斑君ってそんなに良い男かな？顔は良い方だろうけど。今まで見る限りの鈍感っぷりだと、いざ付き合うことになつてもつまらなさそう。他の友達も、学校ではキャーキャー言つて盛り上げてるけど、結構皆学外で彼氏を作つてたりする。もつとも本業を疎かにするような子は入学できたりしてないから、仲良しの遊び仲間レベル。本当にハードだし、この学校。承知の上だから仕方ないけどね。

けどね、鳳さん。いくら織斑君が気になるからつて1組の人達ばかりとつるむのは良くないとと思うよ。クラス代表を交代した子が可

哀相じやない。せめて自分のクラスぐらいまとめてあげないと。

クラス委員とクラス代表選手つて分けた方が良いと思うな。強さ
とリーダーシップつて別物でしょ？

いくら歴史の浅い学校とはいっても、もうちょっと改善の余地ありだよね。

それにしても織斑君。あそこまで露骨に好意を示されて気付かな
いなんて、本当に天然記念物レベルだわ。

最初に男性のI.S適正者が発見されたってニュースが流れた時、
実は女性なんじゃないかって話もあつたけど、今なら私もその意見
に納得しちゃいそう。実は男装の女性なんてベタなオチはないだろ
うけどね。

クラス対抗戦（前書き）

最初は原作キャラを退場させるつもりだったので、原作ブレイクって書いておいたのですが、思っていたよりマイルドな話になつてきただで看板に偽りあります。このまま進むようでしたら近いうちに修正します。

それにしても主人公の性格が悪い気がしないでもないのですが、どうでしょう？

クラス対抗戦

とうとうクラス対抗戦の日がやってきた。

我がクラスの代表は、国家の代表候補生でもないし、専用機持ちでもないけど皆で精一杯応援するつもりだ。元気を装つてはいるけど、緊張しているのは丸わかりなので皆で一生懸命励ましてる。本当に良いクラスだ。私だったらあんな人達を相手に試合なんて怖くて出来ない。そんな試合に挑むクラス代表は本当に凄い子だと尊敬している。

実技の練習は、練習機の数の問題や、練習場の広さの問題もあって中々進まない現状だけど、皆でこれまで頑張ってきたんだ。気持だけは負けないでいいつと思つ。

最初は1組の織斑君と2組の鳳さんの試合だ。一人とも専用機持ちなので、皆一人の専用機に目が釘付けだ。こればかりは仕方無い。4組とは合同演習が一緒だつたんだけど、4組の代表候補生はまだ専用機を持っていなかつたので、専用機を見る機会がなかつたのだ。屋外で演習しているところを見掛けはするけど、こんなに近くで見れた事は無い。

それにもしても織斑君の専用機は『白式』という名前だけあって、本当に真っ白だ。綺麗だと思う。鳳さんの専用機はカッコイイって感じ。武装も如何にも中国っぽい。

私は口ケツト打ち上げ基地の近くに住んでいたから、宇宙開発関係の仕事に憧れて育つた。だから、はつきりいつて I.S. が本来の宇宙開発用に使われないことがとても残念だったし、武器や競技用としての I.S. には実はあまり好感をもっていらないんだけど、いつか本

来の形で使えるようになつたら、絶対に乗つてみせる。それにしても本当に勿体無いな。ISが本来の形を外れなかつたら、今頃人類の活動範囲は飛躍的に広がつていただろうに。大人つて夢が無い。

試合は決着が着く前に、謎のISの乱入で有耶無耶になつた。もつともその時の私は、他の皆と一緒にパニックになつて怯えてだけ。その変なISは専用機持ちの人達がやつづけてくれた。やっぱり専用機を持つ人達つて特別なんだ。

オルコットさんの評価も皆の中で上向き修正されてきた。見ているだけで面白い人だしね。

クラス対抗戦後（前書き）

普通いつも想いますよね？

クラス対抗戦後

クラス対抗戦がとんでもない事態で終わつた後。

オルコットさんの評価は結構好転した。やはり流石は代表候補生といったところか。惜しむらくはあまり活躍出来なかつたらしい事だけど、それでも私達の為にあんな得体のしれないISに挑むなんて凄いとしか言いようがない。後は口に気をつけてくれればいいと思う。母国が好きなのは良いけど、だからといって相手の国を侮辱するのは人間性が疑われるし。将来、国家代表になつた時にも困つたことになると思うよ。それだけ注目される存在なんだから。

ちょっと惚れっぽい気もするけど、好きな相手の為に一喜一憂する姿は、以前までの高飛車な態度に比べれば余程好感が持てるし。

そのかわりといつていいいのか、評価がさがつてきているのが篠乃さん。はつきり言って暴力的の一言で済む人だ。いくら相手が男の子でも、普通あんな攻撃が当たつたら、打ち所が悪いと死んじやうと思う。織斑先生は弟が心配じゃないんだろうか？ドアももう何回も壊されてるし、けが人は出でないけど凄い迷惑。うるさいし。修理費が学校持ちだつたりしたら、もつと許せないんだけど。

彼女のIS適正評価はことのこと。適性が全てじゃないけど、この学校ではギリギリのレベル。なんでもお姉さんの存在故に此処に入学することになつたらしい。その御蔭で好きだつた男の子と再会できたらんなら、もう少しお姉さんの悪口を言つのを控えればいいのに。偉大すぎる姉を持つた苦労を知らない私が言えたことじゃないだろうけど。

もしあれで織斑君が彼女を選んだら、きっと織斑君はMなんだと思つだらうな。はつきり言って照れ隠しつつレベルじゃないから、アレ。もう殺人未遂レベル。

彼女が誰かに大怪我させる前に指導してくださいよ。織斑先生。

なんかまた何処かで器物損壊の音が響いてる。皆で使う物まで壊さないでよね！本当に！－！

だからお姉さんのコネなんだって言われてるの、彼女知ってるのかな？

転人生一人（前書き）

一斉検査をしたというような表記は原作では無かったと思うので。
実は行われてたりしたらすみません。すぐ訂正します。

転入生一人

また転入生がやつてきた。

それも一人。

しかも片方は世界で二人目の男性IAS適格者。そして一人とも代表候補生の専用機持ち。

けど、この一人が転入したのは1組。

何で！…………！

こういう場合、普通3組に一人位は来るんじゃない！？だって、うちのクラスだけなんだよ？代表候補生がいないの。別に2組みたいに代表候補生をクラス代表にしようなんてつもりは全くないよ。もし転入生がそれを希望しても、私達は一致団結して断ると思う。だけどね、実技演習で代表候補生の見本が見れるのと見れないのと同じ、凄く違うんだよ？何、この不公平！

これがブリュンヒルデである織斑先生の所に優秀な生徒を集めるつていう理由だつたのなら、4組の更識さんはどうなるの？まさか専用機も無い人の授業なんて受け持てません、つていうこと？

以前から変だ変だと思ってたけど、この学校変過ぎるよー。

3組の皆で今度ネット上で訴えようかつて話してる。つていうか、既にちよつとずつ情報は漏れてるみたい。皆携帯持ってるし。最初は生徒会に訴えようつて言つてたんだけど、ある意味当事者の一人である更識さんの様子からして、生徒会長もなんか信用できない気がするし。更識さんに専用機が無いのは、織斑君の専用機作成が後から割り込んできたからで、別に更識さんの所為じやないのに。

こんな感じだから、別に転入生自身が悪い訳じゃないけど、最初から印象は良くない。もつともドイツから来た女の子の方は、最初から織斑君を張つ倒したそuddi、その後も無愛想そのもので印象は全く好転しそうにない。あまりにも織斑先生至上主義で、オリムラ教教徒なんて影で噂されてる程だ。私達だって織斑先生に憧れはあるけど、あそこまで依存してない。もしかして百合？なんて疑われてたりするけど、さすがにルームメイトにならやつた子が可哀相なので、皆口には出してない。

対照的にフランスから来た男の子は綺麗だし愛想は良いし、早速ファンクラブだって出来てる。織斑君も男の子の仲間が出来て嬉しそう。部屋替えも行わされて、暴力に合つ被害も減つただろうし。

それにしても白人の男の子って腰が細いんだなあつて、わが身をかえりみて溜め息を吐いたりしちゃう。声変りもまだなのかウイーン少年合唱団みたいだし。昔のヨーロッパの貴族の女性がコルセットで腰を締めていたのつて、男性の方が細かつたからなのかな？腰の細いナポレオンとか想像できなきけど。

それにして男の子だからって、いきなり専用機持ちの代表候補生なんて、話題作りのための密寄せパンダみたいで本当に可哀相。織斑君と一緒に頑張つてね。

そういうえば織斑君が（言葉は悪いけど）発見されたんだから、デュノア君みたいに他にも見つかるかもしれないよね？男子を対象にした検査を一斉にしてみればいいのに。

なんでしないの？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3493ba/>

IS～ある平凡な女生徒の話～

2012年1月10日14時52分発行